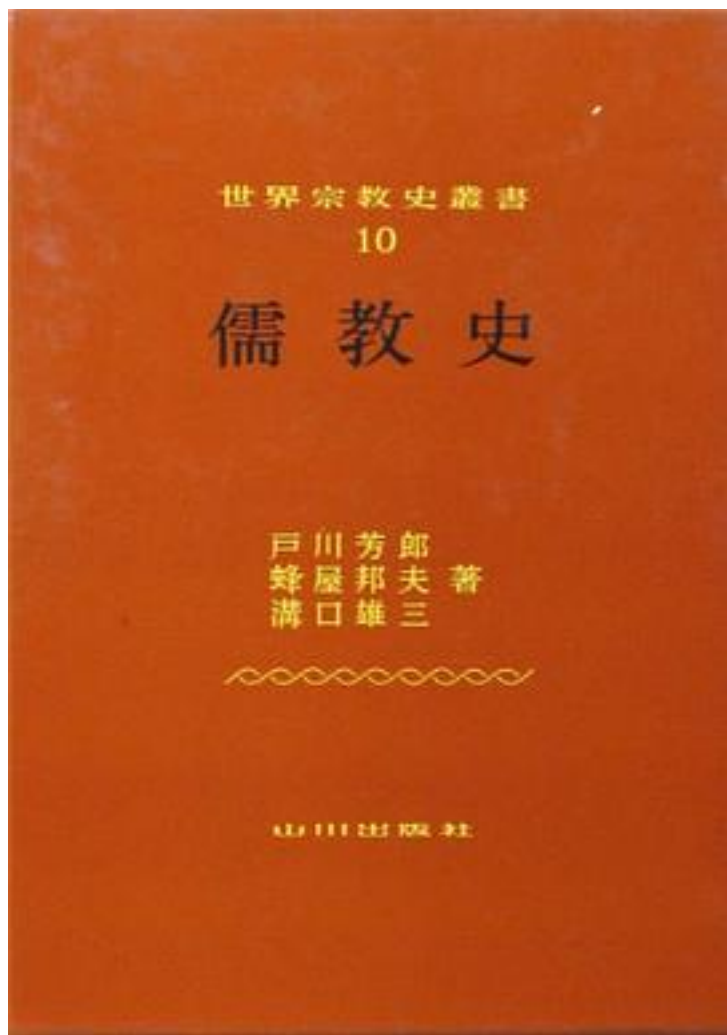


# 儒教史



[儒教史\\_下载链接1](#)

著者:戸川 芳郎

出版者:山川出版社

出版时间:1987-7

装帧:单行本

isbn:9784634431003

長く中国の正統的教学であり、日本などにも大きな影響を及ぼした儒教—その成立か

ら現在にいたるまでの動向を歴史的にたどる。序章で「儒教」の名称があらわすわが国での現代的意義を説明し、以下、中国においてそれぞれの時代に、社会との関わりのなかで儒教がどのように展開していったか、そして現在の人民中国にまでいかに息づいているかを丹念に描く。

作者介绍:

目录: 序章 儒教をどうみるか

第1章 儒教の成立—春秋戦国から漢・武帝まで（原始儒家の成立—“仁”と孔子

儒家学団の展開—孟子の王道論

儒家思想の形成—“礼”と荀子

黄老思想と董仲舒

司馬遷と歴史記録)

第2章 礼教国家の学術と思想

第3章 儒教権威の相対化—三教交渉の時代

第4章 義疏学の完成と新儒教の胚胎—隋唐の儒教

第5章 仏教・道教の繁栄と展開

第6章 新体制の模索と新儒学の胎動

第7章 朱子学の興起と体制教学化

第8章 陽明学の勃興と新局面

第9章 理観の展開—明から清へ

第10章 清代の新しい理観

第11章 清代の経世論—封建論と田制論

第12章 儒教の再生—共和国から人民中国へ

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[儒教史 下载链接1](#)

标签

思想史

蜂屋邦夫

沟口雄三

戸川芳郎

大四a非专业近期必读

评论

-----  
[儒教史\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[儒教史\\_下载链接1](#)